

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		スーパー（店長）	・例年と比較して、来客数が105%で推移している。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数が例年を上回ってきていることに加えて、競争相手が出てきていない。
		乗用車販売店（店長）	・3月の終わりから他社商品の販売を開始し、更に4月から8月にかけて新型車の販売が始まる。
		高級レストラン（スタッフ）	・小中学生の週休2日制に伴って、土日のファミリー客が増加する。
		都市型ホテル（経営者）	・婚礼予約状況が、例年と比較してかなり改善されている。
		通信会社（通信事業担当）	・サービスに関する問い合わせなどが増加している。
	競艇場（職員）	・4月より電話による新しい購入方法が導入されるため、販売が伸びる。	
	変わらない	一般小売店〔印章〕（営業担当）	・近くに商業施設ができるため、その需要が見込まれるものの、全体的な販売の落ち込みがあるため、差し引きゼロである。
		百貨店（営業企画担当）	・客は必要な物しか求めない。
		百貨店（営業担当）	・常備品はもちろんバーゲン品や割引販売でも売上が伸びていない。
		百貨店（売場担当）	・ヒット商品がないため、売れ筋がつかめない。
		スーパー（総務担当）	・単価の上昇は見込めないが、買上点数、来客数は増加している。売上も前年割れしなくなっている。
		スーパー（店員）	・客が広告の目玉商品を買う傾向がまだ続いている。
		コンビニ（エリア担当）	・欲しい物があってもためらい、本当に価値のある物しか買わないという客の様子が今後も続く。
		コンビニ（エリア担当）	・例年に比べて客単価や買上点数に変化がなく、今後良くなる見込みもない。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数の大幅な減少はなく、販売量、買上点数にも変化がない。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・低価格を希望する客が多く、客単価は低下している。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・低価格品の動きが良くなっているが、高額品の動きは相変わらず悪い。
		衣料品専門店（店長）	・安い商品に人気が集まり、一般客の単価は低下している。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車の売行きは好調だが、当初の計画を下回っている。
		その他飲食〔ハンバーガー〕（エリア担当）	・日曜祝日の来客数はさほど伸びておらず、それが増加傾向にならない限り楽観できない。
		観光型ホテル（スタッフ）	・個人、団体客とも減少しており、客単価も低下している。
		通信会社（経営者）	・新規加入実績が従来の平均値を大きく下回ったままであり、客の反応も厳しく、財布のひもが固い。
		設計事務所（職員）	・大学の県外学生向けのワンルームマンションや、アパートの建設が進んでいる。
		住宅販売会社（営業担当）	・来客数の増加や建築単価の上昇がみられない。
		住宅販売会社（従業員）	・来場状況及び受注状況から、好転する要因は見当たらない。
		やや悪くなる	スーパー（店長）
	乗用車販売店（所長）		・新型車が2車種出たが、通常とは異なり販売量は例年を下回っており、4月以降は新型車の発売もないため購買意欲もなくなる。
	住関連専門店（広告企画担当）		・安ければ良いという客が増加している。
	タクシー運転手		・規制緩和で増車されたが、1台あたりの利用は減少しており、競争が厳しくなっている。
	住宅販売会社（経理担当）		・新規物件と比較して既存物件については来客数、契約数とも低迷が続いており、これまでの低下傾向に歯止めがかかっていない。
	悪くなる	乗用車販売店（営業担当）	・購入決定までの時間が伸びる傾向にある。 ・高額商品に対して客が慎重になっている。

		都市型ホテル（営業企画担当）	・人の動きが例年に比べると少ない。 ・3月10日に開業した同業の新施設が稼動するため、厳しい状況にある。	
		テーマパーク（業務担当）	・事前申込制のイベントは、申込数が伸び悩んでいる。	
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	鉄鋼業（総務担当）	・エレクトロニクス材料にやや動きが出てきており、受注量を見ると半導体の回復が始まっている。	
		鉄鋼業（広報担当）	・今後国内の鋼材在庫レベルが一層下がってくれば、価格の値戻し気運が高まってくる。	
		電気機械器具製造業（広報担当）	・液晶部品、完成品は総じて回復の傾向が見受けられる。	
		電気機械器具製造業（総務担当）	・受注量が増加し、人の採用もある。また試作開発品の案件が成立している。	
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・2、3か月先の新製品の受注が増加してきている。	
		建設業（経営企画担当）	・年度末に向けての官公庁工事が順調に発注されているので、2、3か月後には前払金の受領による効果が現われる。	
		建設業（営業担当）	・製造業において受注量が増加し始めたので、小規模ながら設備投資における見積依頼が具体的に出始めている。	
	変わらない	化学工業（総務担当）	・特殊事情により一時的に出荷量が増加しているが、全般的には依然低調である。	
		一般機械器具製造（企画経理担当）	・受注量や販売量の伸びに期待ができず、低水準の状況がこのまま続く。	
		通信業（営業担当）	・企業のイントラネットの構築や整備の動向は、当分は品質よりもコスト優先の姿勢が続く。	
		金融業（業界情報担当）	・人件費削減等合理化が進展しているため、企業収益の下げ止まりがある。	
		やや悪くなる	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・受注量や価格に改善がみられない。
		悪くなる	会計事務所（職員）	・クライアントである製造業、官公庁に関わる建設業では、今後3か月仕事の受注がほとんどない。
雇用 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		-	-	
	変わらない	職業安定所（職員）	・雇用調整の助成金の受給を取りやめる事業所がある一方、申請する事業所もあり、業種によって一進一退という状況である。	
		民間職業紹介機関（職員）	・求人数はおおむね横ばいであるが、人材派遣などに頼り、正社員が減少している。	
		民間職業紹介機関（職員）	・正社員の増加に強いストップをかけている企業が多い。	
	やや悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・採用見通しが立っていない企業がある。	
		求人情報誌製作会社（編集者）	・採用数を減らし欠員募集をしない傾向が企業にはある。	
		新聞社職員〔求人広告〕（広告営業担当）	・来春新規採用する会社も、まだ予定が立っていない。	
		職業安定所（職員）	・3月末から6月初旬にかけて数か所でリストラ予定あり、雇用調整の問い合わせが増加している。	
		職業安定所（職員）	・従来多かった土木作業員、運転手関係の求人の増加がみられない。	
	悪くなる	人材派遣会社（支店長）	・3月決算の発表に合わせて、更に景気が悪化すると予測している企業が多く、雇用に関して現状より好転する材料はほとんどない。	
		職業安定所（職員）	・製造業を中心に、大量解雇や一時休業などの情報が複数寄せられており、新規求職の一層の増加が見込まれる。	